

第1学年 国語科 単元名「 自分をみつめて 『少年の日の思い出』 」

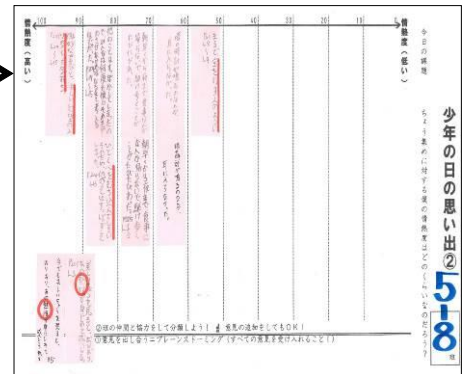
1. 目標

- 物語の内容や表現の仕方について自分の考えを持ち、交流して考えを深めようとしている。 【関心・意欲・態度】
- 物語の構成や展開、登場人物の心情の移り変わりを読み取ることができる。 【読むこと】
- 情景描写、独特の呼称、ものの見方に係る描写について、話合いや意味調べを通じて理解を深め、文脈に即した言葉の意味を考えられる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

2. 指導計画（7時間扱い）

単元を貫く課題 <僕はどんな人物として描かれているのだろう？>

語り手の心情や別視点をふまえ、作品をより深く味わおう！>



見通す
取り組む
振り返る

- | | |
|----|--|
| ①時 | 学習目標の確認／通読／初発の感想／構成と伏線 |
| ②時 | 【課題①ちよう集めに対する僕の情熱度はどのくらいなのだろう？】
● 3～4人組による話合い活動
(シンキングツール:数直線) |
| ③時 | 【課題②エーメールは本当に嫌な奴なのか?!エーメールと僕を
対比させ、エーメールの視点で本文を書き換えよう！】
● 3～4人組による話合い活動(シンキングツール:比較表) ● 本文の書き換え
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">←学び合いの例</div> |
| ④時 | 【課題③ちようを盗んでしまうまで「僕」はどんな気持ちだったのだろう？心情曲線を作ろう！】
● 個人で短冊作成 ● 黒板の時間軸に貼り付け ● 行動描写を感情語に置き換え |
| ⑤時 | 【課題④僕はちようを押しつぶしたのだろう？謝りに行った「僕」の心情をエーメール
の心情を比較して考えよう！】
● 3～4人組による話合い活動(シンキングツール:比較表) ● 理由の予測発表 |
| ⑥時 | 【課題⑤今まで学習したことをもとに、エーメールの視点で本文を書き換えよう！】
● 前時の話合い結果をふまえ、本文の書き換え |
| ⑦時 | 【課題⑥僕はどんな別の姿をもっているのだろう？語り手の視点の効果から考えよう！】
● 前時の書き換え文を3～4人組で発表・感想 ● 表現効果に関する話し合い |

3. 第③時について

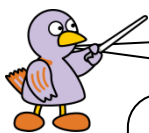
- 目標 ○エーメールがどんな人物なのか、人柄がわかる描写を読み取ることができる。【読むこと】
- 僕とエーメールの性質や考え方の違いをふまえた書き換えができる。 【読むこと】

見通す
取り組む
振り返る

- | | |
|-----|--|
| 活動① | 前時の復習をする／本時の学習課題を理解する |
| 活動② | 教科書の範読を聞く／エーメールの人柄がわかる表現に下線を引く／付箋に記入する |
| 活動③ | 3～4人組で比較表を用いて意見を出し合う／意見の分類や補足をする |
| 活動④ | 話し合った内容をもとに、本文を書き換える |
| 活動⑤ | 書き換えた作品を発表する |
| 活動⑥ | 本時のまとめをする
振り返りシートに記入をする |

単元名 「自分を見つめて『少年の日の思い出』」

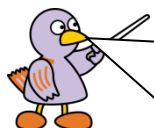
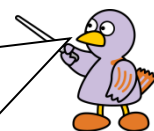
取組のワンポイントアドバイス



こうすればうまくいくよ！
実践にあたり工夫したところ・子供たちの変容の様子を教えます。

授業に先立ち、「星の花の降るころに」で書き換えを行ってみました。話し合い活動には積極的に参加していましたが、語り手(視点)の入れ替えができない生徒が思ったよりも多く、驚きました。そのため、話し合いの仕方を練りました。話し合い活動の中で、二つの視点から『それぞれがどう思っているのか?』を考え、視点の入れ替えの助けになるように、ピラミッドツールから比較表に変えてみました。これによって、僕とエーミールの考え方の違いに気付き、語り手(視点)の入れ替えができるようになった生徒が増えました。

比較表を用いた授業を何度か行ううちに、ふと気付いたことが……。 「表の項目も生徒が記入をすれば、もっと話し合い活動に適したワークシートになるかもしれない」と……。そこで、物語の後半部分で行う書き換えでは、比較表の項目を無記入にし、生徒が考えるようにしました。これによって、分類の時間が短縮され、特徴を抽象化する時間が確保できました。生徒たちも独自の項目を考えだし、楽しそうに分類・抽象化していました。



また今回の単元では、読解力を考慮したグループを意図的につくり、第1時から授業を行いました。読解力の高い生徒や、話し合い活動の中心になる生徒を意図的に配置したことで、話し合いがスムーズに進みました。書き換えの際に表現についてアドバイスし合えたのも、意図的なグループ構成によるものかもしれません。「やってみよう！」を効果的に支援できるかもしれません。

この授業の間、生徒が毎時記入する振り返りシートには、「読めるようになった!」、「僕の母親の視点から見ると、僕はどう見えるのだろうか?」など、たくさんの自信・疑問・変化が綴られていました。グループ活動は学習を記憶に残し、意欲を高める効果があることを実感しました。

授業内容を記録として残そうとすると、書く作業が重視され、話す時間が短くなってしまいます。話すことを重視すると、授業記録が残りません。両方を行いたいのですが、時間を考慮すると、とても難しいと思いました。話すことを重視した授業を行った際には、話し合いに用いたシートをコピーし、授業記録の代用としたところ、生徒からは「話し合いの記憶を思い出しながら復習ができた」と好評でした。ひと手間を惜しんではいけないと、生徒に教えてもらいました。

